

汚染・破損車両の解体について

2017年5月29日
東京電力ホールディングス(株)
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所

【書画資料】本資料には東京電力ホールディングス（株）または同社以外のノウハウ等が含まれている可能性がありますので転載はご遠慮願います。また未確定な情報や暫定値などが含まれており、内容が変更される可能性がありますので取扱いにご注意下さい。

■ 目的と概要

震災時の建屋水素爆発等で汚染・破損した車輻については一部を仮設ヤードに保管している状態である。当該車輻には汚染されているものが含まれているため、環境への影響を低減することを目的として車輻を解体・減容化する設備を設置し、計画的に処理・保管を行う。

■ 対象数量

乗用車，トラック，緊急車輻等 235台

■ 減容

破損車輻は金属類を減容するためプレス機と重機を用いて解体し、線量に応じて適切な保管場所へ移動する。

■ 線量区分による保管

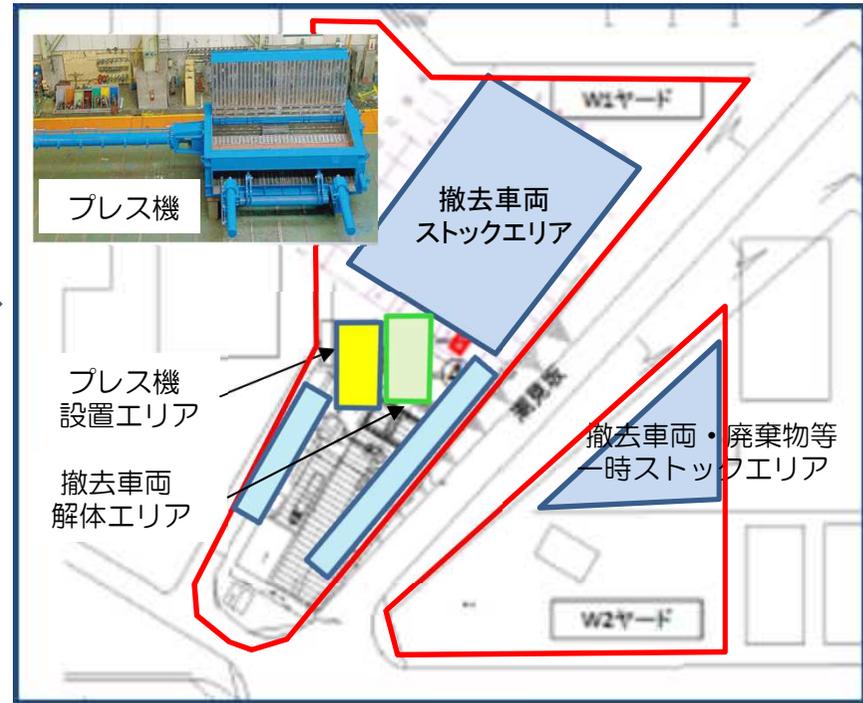
0.1mSv/h未満 ：Cヤード又はP1エリア
0.1mSv/h～1.0mSv/h ：W2エリア
1.0mSv/h以上 ：固体廃棄物貯蔵庫
(0.1mSv/h以上はコンテナ収納)

■ ダスト防止対策

- ・作業前に飛散防止剤の散布を実施する
- ・作業中、適時ダスト測定を実施する



W1ヤード作業開始前状況



<拡大図 工事実施時イメージ>

■工程

	H28年度										H29年度									
	4/1	5/1	6/1	7/1	8/1	9/1	10/1	11/1	12/1	1/1	1/1	2/1	3/1	4/1	5/1	6/1	7/1	8/1	9/1	10/1
解体ヤード整備	[Progress bar from 6/1 to 12/1]																			
解体・撤去											[Progress bar from 1/1 to 10/1]									

■進捗状況 (5/10 現在)

	<0.1 (133台)	<1.0 (76台)	1.0≤ (26台)	計 (全体)
減容化完了	65台	3台	3台	71台
進捗率	48.9%	3.9%	11.5%	30.2%

- プレス機設置完了日：平成29年2月21日
- プレス機運用開始日：平成29年3月1日



プレス機全景



車輻投入状況



車輻投入状況



プレス完了後状況



小型車解体状況



電源車解体状況



電源車解体状況



バックホー解体状況